

ちよつとしい話

～ 尊 嚴 ～

22年3月1日

私は教育勅語の「父母に孝に兄弟に友に夫婦相和し、恭儉己おのれを持し、博愛衆はくあいしゅうに及ぼし、學がくを修め業ぎょうを習い、以って智能けいはつを啓発し、徳器とつきを成就し、～祖先いふうの遺風けんしゅうを顯彰する」と言う一文を大切に思っています。今や親、夫婦、兄弟、友達との関係が希薄になってしまった事と、逆に自己中心的行動をとり、自己の満足を得る為には相手が自分の思い道理にすべきであると思うようになり。意に反した時、尊属殺人や戦国時代に横行した下剋上げこくじょうを思わせる事件、意味不明の不可解な殺戮さつりくが繰り返され、世は戦々恐々となり、暗い世相となり、自殺者も三万人を超え、このままでいけば生活の安心、安全も國に預ける事が出来なくなってしまうのではないかと心配です。お互いが相手に対して十分な配慮はいりよをし、己じを待すれば問題の解決が出来ると思っています。

大自然は時が来れば櫻の花を咲かせ、一粒の種から芽を出し、やがて実をつけます。しかし自然も少しずつ変化し始めています。我々は環境問題を含め食材や生活用品等、一々自己の責任に於いてチェックを余儀なくされるのか、全ての品々を信じる事が出来るのか、我々の生命維持に問題が生じてしまうのです。世界のトヨタが今矢面に立たされています。リコール問題は車に限った事ではありません。人格の尊嚴が保たれれば異常事態おちいに陥る事はまず無いと思います。人間の尊嚴そんげんは偏見へんけんを持たずに見識けんしきを持って、普通に日常生活が出来れば、それで尊嚴つちかが培われるはずで

「今日は良いことしましたか、明日も良いことしましょうよ、毎日楽しく良いことすれば、恵比寿、大黒つど集い来て徳の恵みで家門の繁栄」彼岸月です先祖の供養も忘れずに！
 藹あい 藹あい (和わ 氣き)

善壽界善入院油掛地藏尊